

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	○利用者同士の関係の支援 ・利用者間の関係性によるストレスを感じられる様子がみられる。 ・利用者同士の話題が少なく、ぎくしゃくしてしまう事がある。	利用者同士が円滑に楽しく生活できるようにする。	・個別ケアの充実を図る。趣味や好きな活動を定期的に実施する。活動予定表を作り皆に周知する。 ・職員と関わる時間を増やし、話題を提供しながら気分転換を図っていく。	12ヶ月
2	47	○役割、楽しみごとの支援 ・帰宅願望や訴えの強い利用者の対応が優先されてしまう。利用者の業務に追われ、定期的なレクリエーション活動が実施できない。	毎日、個別対応の活動を実施する。	・日頃の関わりから利用者が望んでいることを引き出す。短時間でも楽しみのある活動を実施できるように取り組んでいく。 ・活動が継続できるよう、利用者状況を確認しながら、随時職員の業務改善を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。